

みぬま見聞館だより No.42

平成28年12月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

右の写真はアカタテハです。成虫で越冬します。

今年の渡り鳥の飛来はいつもより少し遅く、10月11日にコガモとヒドリガモが、10月31日にオカヨシガモが渡ってきました。

今後、例年通り多くの種類のカモが訪れるでしょう。また、庭園にも毎年ショウビタキ、アオジ、カシラダカなどの冬鳥が訪れます。是非、見に来てくださいね！



アカタテハ

ベニイトトンボ現る！



見沼自然公園にて

市民の方からの情報で、見沼自然公園にベニイトトンボが生息していると聞き、早速出かけてみました。見沼自然公園は、見沼区と緑区の区境にある大きな池を有するととても広い公園です。この日は曇りのせいかなかなかトンボを発見できませんでしたが、池を一周したところ、遂に2頭、巡り合うことができました。全身はとてもきれいな紅色をしています。イトトンボはいつもピントが合わず写真撮影に苦労しますが、やっと一枚撮ることが

できました。

埼玉県レッドデータブック*に掲載され、絶滅危惧Ⅰ類に分類されています。

*レッドデータブック（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）

絶滅>野生絶滅>絶滅危惧Ⅰ類>絶滅危惧Ⅱ類>準絶滅危惧 絶滅の度合いは左にいくほど大きくなります。

ツリフネソウが面白い形の花を咲かせました！



9月末にツリフネソウ（ツリフネソウ科）が花を咲かせました。

帆をかけた船をつり下げたように見えることから名前がついたようです。

ちょっと変わった形をしていますが、色がとてもきれいです。

ちょっとした山へ出かけると、10月中旬に目にすることができます。

クロコノマチョウ現る！



ナガサキアゲハのように、地球温暖化の影響で生息域が北上しているのでしょうか？
今後の動向が気になります。

8月25日に、南の地方に生息しているクロコノマチョウが庭園の日陰に姿を現しました。

庭園では、初めて見るチョウで、色はとても地味ですが白い斑点があり、線が2本あります。

その後、しばらく姿を現しませんでした。10月末に再び姿を現しました。

日陰を好むようで、暗い木々の中を飛び、樹液を吸っています。

緑区の大牧自然緑地、中央区の河童の森でも目撃情報がありました。ツマグロヒョウモンや

チャイロスズメバチ・・・・・・・・・・以前は幻のハチ？



今年初めて、庭園の樹液の出ている木に全身が茶色と黒色の変ったハチが現れました。

調べてみると『チャイロスズメバチ』という名前のハチで、以前は幻のハチと呼ばれていたようです。大きさはアシナガバチより少し小ぶりです。メスは最初、他のスズメバチの巣へ入り込んでそれを乗っ取るそうです。

埼玉県レッドデータブックに掲載され、絶滅危惧Ⅱ類に分類されています。

第16回さいたま市環境フォーラムに参加しました

さいたま市内では、地域や学校、事業所などにおいて、様々な環境保全活動が行われています。今年で16回目となる本フォーラムは、それぞれが日ごろの活動について発表することを通じお互いの情報を交換し交流する場、また、多くの市民の方々に環境に関心を持っていただくための環境教育・学習の場を創出することを目的に10月7日・8日にさいたま新都心東西自由通路において開催されました。大宮南部浄化センターもクリーンセンター西堀とブースを展示し、水環境の大切さを伝えるために、し尿処理施設のパネル展示で設備の説明を行い、あわせて自然庭園の紹介及び簡単な木の実を使った工作を行いました。また、ステージにおいて「夏休み自然観察・環境学習会」のときに自然庭園で、撮影した写真を小中学生11人に発表してもらいました。



木の実を使った工作



夏休み観察会写真



ステージ発表

第13回さいたま市みどりの祭典に参加しました

10月15日（土）・16日（日）の2日間、見沼グリーンセンター（市民の森）で開催された『みどりの祭典』に参加しました。天候にも恵まれ多くの方々にご来場いただきました。

当館では、庭園で見られる見沼の生き物のパネル展示を行い、来場者の方々にはいくつかの身近な生き物を実体顕微鏡を用いて観察していただきました。また、毎年人気の企画となっている木の実を用いた工作を様々な年齢の方に楽しんでいただきました。



全 景



木の実工作



顕微鏡観察



浅嶋先生のワンポイント教室

今回は自然庭園で見られるタンポポの違いについていくつか述べてみたいと思います。ここ庭園では①セイヨウタンポポ②カントウタンポポ③エゾタンポポ④シロバナタンポポの4種類のタンポポが見られます。

冬期には地面に葉をぴったり広げて寒さに耐え、しかも太陽の光を十分に受けることのできるいわゆるロゼットという姿で春が来るまで過ごします。ロゼットの姿でもセイヨウタンポポに比べカントウタンポポは優しい感じがし、シロバナタンポポは緑が少し薄い感じがします。しかし、はっきりした識別点は花の下側にある総苞片（そうほうへん）でしょう。

外来種の①セイヨウタンポポの総苞片はつぼみの時からくるりと下向きにそり返っています。一方、在来の3種のタンポポですが、②カントウタンポポの総苞片は直立し、上部に角状突起があります。③エゾタンポポの総苞片も直立し、よりがっしりとした印象で角状突起はほとんど目立ちません。④シロバナタンポポの総苞片はややそり返り、角状突起は大きく目立ちます。

是非、自然庭園で識別してみてください。

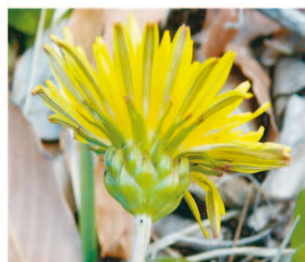
*浅嶋先生は、以前草加市立栄中学校で理科を担当していらっしゃいました。



①セイヨウタンポポ



②カントウタンポポ



③エゾタンポポ



④シロバナタンポポ



幼児政策課の保育者研修（2回目）が行われました！

10月27日幼児の自然に対する興味・関心を育てるために、私立幼稚園、公私立保育所、認定こども園保育教諭の自然体験研修「虫に触れる保育者になろう！」が行われました(本年度2回目)。保育教諭39名が庭園でザリガニ、昆虫を実際に手でさわり生き物にふれあい、室内では、松ぼっくりを用いたミニツリー工作を行いました。



開講の挨拶



広場で虫探し



松ぼっくりを使った工作

団体見学がありました！



①タイヤでザリガニ体験



②どんぐり拾い



③し尿処理の説明



④工場見学

①9月9日白菊保育園が遠足に訪れました。

②9月26・29・30日木の実幼稚園の親子が遠足に訪れました。

③10月7日大谷場小学校4年生が総合学習で訪れました。

④10月28日芝川小学校2年生が町探検で施設を見学しました。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

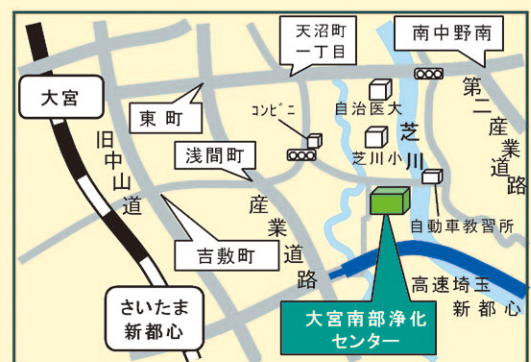
開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田508番地1

電話番号 048-646-6030 F A X 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）



この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数 6,100部 単価 15円